

安全・安心なスポーツ活動の推進を目指した 「鹿屋体育大学式スポーツ外傷・障害予防プログラム」作成の取り組み

鹿屋体育大学スポーツ生命科学系 教授 廣津匡隆(整形外科医)
教授 藤田英二(アスレティックトレーナー)

本事業の概要

鹿屋体育大学の地域密着型で体育・スポーツを専門とする単科大学という特長を活かして、大学生アスリートをはじめとした、中高齢のスポーツ愛好家や地域スポーツ活動団体に所属するジュニアアスリートなどのメディカルチェックやフィットネスチェックを行い、得られたデータからスポーツ外傷・障害の発生を予防するプログラムを考案して、安心・安全なスポーツ活動の推進を目指します

- メディカルチェック・フィットネスチェックによる、スポーツ外傷・障害発生の危険因子の把握と予防的介入メニューの考案
- 蓄積した知見を広く社会に還元



地域の中学生・高校生を対象とした「膝前十字靭帯損傷予防教室」などの開催



令和6年度の取り組み

令和6年度には以下の事業を行いました

- 鹿屋体育大学新生を対象としたメディカルチェックとフィードバック(177名)
- 高校生女子バスケットボール部、バレーボール部、柔道部のメディカルチェックとスポーツ外傷・障害予防講習会(27名)
- 中学生男子バスケットボール部のメディカルチェックとスポーツ外傷・障害予防講習会(17名)
- 小学生柔道選手のフィットネスならびにメディカルチェックとフィードバック(85名)
- 中高齢者スポーツ愛好家の腰痛予防に関する測定ならびにフィードバック(9名)
- レクリエーション教室参加高齢者に対する転倒予防測定ならびにフィードバック(59名)
- ウォーキング愛好家中高齢者に対する転倒予防測定ならびにフィードバック(59名)
- 小・中一貫校でのフィットネス・メディカルチェックとフィードバック(小学生167名、中学生69名)
- 大学スプリンターの下肢傷害とスプリント動作チェックとフィードバック(大学生5名)



これからも安心・安全なスポーツ活動環境の実現に向けて取り組んでまいります

本事業は公益財団法人スポーツ安全協会のスポーツ活動等普及奨励助成事業の助成を受けたものです